

平成13年度

第1回

## 宇都宮市図書館協議会会議録

宇都宮市立図書館

宇都宮市立東図書館

- 1 開催日時 平成13年8月30日(木)午後1時25分~午後3時40分  
 2 開催場所 宇都宮市立図書館集会室 (3階)  
 3 出席議員 7名

1	金子耀誉	6	広木邦子
2	恩田系子	7	麦倉仁巳
3	田村知子	8	
4	増淵民子	9	
5	小池清治	10	

- 4 欠席委員 3名

1	中島小百合		
2	三村正行		
3	梅園杏子		

- 5 事務局出席者

- ・高梨 教育長
- ・丹生 生涯学習課長
- ・尾本 市立図書館長
- ・奈良部 市立東図書館長
- ・事務職員 7名

- 6 傍聴者 なし

発 言 者

内

容

辞令交付 (教育長)

- 1 開会
- 2 あいさつ (教育長)
- 3 委員紹介 (生涯学習課長) 及び事務局職員自己紹介  
教育長退席
- 4 仮議長選出 (出井副館長より図書館法及び条例・施行規則を説明しいかが取り計らうか伺う。)

広木委員  
事務局

事務局一任  
小池委員に仮議長をお願いします。(小池委員, 仮議長席へ移動)

- 5 会長・副会長選出

小池委員  
広木委員

会長選出は, いかがいたしましょうか。  
第3図書館建設推進懇談会委員でもある, 前会長の小池委員が最適かと思  
います。

委員一同  
仮議長  
会 長  
麦倉委員

異議なし。  
会長は, 僭越ですが私がお引き受けいたします。  
あいさつ及び副会長選出について  
男女機会均等法ではございませんが, 女性の方々の意見を反映させるこ  
ういう意味から副会長には女性の方がいいかと思えます。前副会長の増淵委  
員が最適かと思えます。

委員一同  
会 長

異議なし。  
副会長は, 増淵委員に決定します。 (増淵委員副会長席へ移動)  
副会長あいさつ

- 6 議事

事務局  
会 長

(1) 報告事項ア「図書館の運営状況について」を説明  
報告事項アについて質問がありますか。  
児童の貸出人数が増えたということですが, 具体的にどのくらい人数が  
増えたのか。

事務局  
増淵委員

1, 500人ほど増えている。  
うつのみや子ども賞というのが, よくわからなかったのですが, 5, 6  
年生が選定委員というのはいいですね。

恩田委員

平成12年10月国本地区センターができた分, 児童の貸出が増えたの  
かなと思う。学校の近く, 生活している所の近くに地区センターがあるこ  
とに意味がある。今後, ますます地区センター内図書室に新しい本を充実

させてほしい。

会 長 平成13年8月30日付朝日新聞「天声人語」に鳥取県立図書館の不明本の記事があった。図書館概要P79に除籍に関する要綱があるが、開架である以上紛失も見込まれているのは仕方ないが、古くなって廃棄したものの、紛失したものの統計も載せるべきと思う。東図書館は、来年、開館後10年ということで、鳥取と同じくらいだがつかみでどのくらいか。

事務局 年間、1,300冊前後。職員の巡回を強化しているが、目の行き届かない箇所もあるので難しい点はある。

会 長 第3図書館の関係で視察した「さいたま」と「荒川区」の図書館ではBDS(ブック・ディテクション・システム)が導入されている。新しいシステムかと思うが、市民を疑うようなシステムを一方的に取り入れることは、難しいとも思う。400万円するそうであるが、よいかどうかの議論のためにも紛失は実態としてある以上、出しにくい数字であるがデータとして用意しておいた方がよいのではないか。

事務局 市立図書館でも、巡回を強化するとともに、持ち出される恐れのある資料はカウンター内で用意し要望があった時に貸し出す方法で対応している。

会 長 ほかに、辞典の切り取りがあるが、これはBDSでもチェックできない。利用者のモラルをあげるしかないが、いずれにしても廃棄、紛失の資料を整備していただきたい。

事務局 報告事項イ「平成13年度図書館の運営方針及び事業計画について」を説明

会 長 報告事項イについて質問がありますか。

田村委員 読み聞かせボランティアは何人いるのか。

事務局 市立図書館で主に勉強している方は15名程度。

麦倉委員 会議資料P4の音訳奉仕員養成講座が今年ない分、置き換えの音訳奉仕員研修会が22回となっているが、内容はどんなものか。

事務局 前半は、昨年度研修を終了した方を対象に、後半は全体ボランティアを対象として計22回である。

麦倉委員 マンガの購入、子どもの目に触れては好ましくない特定の週刊誌問題があったが、その後経過はどうなっているか。

事務局 マンガは、昨年度100万円を予算計上し購入。今年度についても、予算的には少ないが徐々に購入している。貸出数が多く書棚に本が残っていない状況である。

「週刊現代」については、カウンター内に置き、希望があれば読んでいただいている。

会 長 マンガの利用者は、児童か大人か。

- 事務局 子どもはほとんど、1階には来ない。高校生か大人。
- 会長 完全週休2日制が実施されると、図書館への期待度、利用度はこれまでと違った様相をみせる。「土曜日対策」として、  
(1) 学校側と協議する機会を設け、図書館に対する要望のチェックをする。  
(2) 利用者が土曜日に増える分どう対応するのか、たとえば「定期講座」や「読み聞かせ」の機会を土曜日に設けるなどシフト替えをする。  
既にそういう考えがあるなら聞かせてほしい。
- 事務局 現在も、児童対象には、土曜日の午後「おはなし会」等市立、東とも定期的に開催している。平成14年度からの学校週休2日制の土曜日をターゲットにし、さらに来館をよびかけるための事業は特段考えていない。児童生徒が、読みたくなるような本を揃えることが先決。「おはなし会」等の参加を徐々に広げていく中で、児童生徒が図書館や図書に親しんでいくように移行できればと考えている。
- 会長 (市立の)31人、(東の)21人では対応できない児童生徒が来る可能性がある。1年あるいは半年かけて学校側と対応を話し合う必要がある。学校側は、土曜日をどう考えているのか。どうしなさいくらいの指導はすると思うが、その中に図書館は確実に入ってくる。
- 事務局 来年度週休2日制になると子どもの来館は多くなると思う。学校側との協議は、これから検討させていただきたい。
- 増淵委員 会議資料P3の4(2)科学技術資料の積極的な収集ということですが、一般の幅広いニーズの基本の上に特徴付けをしていく必要がある。東図書館は、今後もその方針か。
- 事務局 東図書館は、平出・清原工業団地を抱えており、高度な技術を持った来館者に対応できる環境を整える必要がある。今度もこの方針で進んでいきたい。
- 増淵委員 他に何か特色ある部分があるか。
- 事務局 市立図書館は、郷土資料を中心に収集している。  
報告事項ウ「その他 20周年記念事業」を説明
- 会長 1日こども司書の感想は文書化されているのか。また、ねらいは何か。
- 事務局 感想文の形で提出してもらい、館内で回覧中。外側から見ている図書館と違う実際の図書館を体験し、大変さを実感してもらいたい。
- 広木委員 2年続けて参加した子もいるのか。
- 事務局 2名いた。将来、図書館に勤めたいという人もいた。学校で図書委員をやっている子が多い。
- 広木委員 男女比は。
- 事務局 市立では、男子2人・女子38人。

- 恩田委員 男子は、スポーツ少年団に所属している子が多く、練習等の条件で参加が少なかったということであり、それほどの偏りはないと思う。
- 会長  
田村委員 (2) 委員提案事項について  
30～40代の主婦の要望を紹介します。  
(1) 東図書館の看板が目立たない。図書館だよりを広報誌に折り込んで。  
(2) 家庭に眠っている本の受け入れについて。  
(3) 返却日の柔軟な対応を。  
(4) 気軽に尋ねられる相談ボランティアの設置を。  
(5) ハンドコピーの設置を。  
(6) 図書館バスの巡回を。
- 事務局 (1)について—主要道路には、ポイント毎にかなり目につく案内板を設定しているので案内板に沿って来館を。催し物案内は広報うつのみやに掲載しているのほか、「ライブラリーだより」の定期的な発行や手作りのポスター等でPRしている。  
(2)について—寄贈は本の状況を見て、判断のうえ受け入れている。  
(3) について—弾力的に対応しており、職員にもそのように指導している。  
(4)について—図書館職員は経験を積んだプロなので、気軽に相談されたら。レファレンスというカタカナことばは、わかりづらい。図書館の中に入ると、(わかえいずらさが)わからなくなるのかもしれない。
- 広木委員  
会長 館内では調査相談と掲示している。(5)については、著作権法の厳しい縛りがあり、「職員がコピーするか、職員の指示にしたがってコピーする」ことになっている。
- 事務局
- 増淵委員  
広木委員  
会長  
事務局 東図書館は創立10年もたつので、まずは実際に訪ねてほしいと思う。  
(1)については、図書館だよりも出ている。  
商業新聞(もんみや等)にも案内がある。  
(6)について—東図書館と併設の東コミュニティーセンター行きの巡回バスが走っている。
- 会長  
金子委員 貴重な意見をありがとうございました。  
市の広報、看板、チラシも出ているが、PRは、より前向きにする必要を感じました
- 会長  
金子委員 週休2日制は、幼稚園はどうなるのですか。  
図書館は週休2日制開始時の重要な受け皿である。図書館を利用する子どもがふえればいい。昔のように小、中学校で強制的に図書館に行く時間をとれないものか。特に中学生の土、日曜の生活の仕方が懸念されている。
- 恩田委員 週休2日制対策は、重要なことである。スポーツ少年団など地域としても考えている。「うつのみや子ども情報センター」の近くに、図書館の分館

のようなものがあるといい。さらに、地区センター内図書室の内容を充実して頂き、図書館もひとつの選択肢として利用を働きかけたい。

事務局 7月16日に中央公民館2階に「うつのみや子ども情報センター」を開設。図書は中央公民館をぜひ利用してほしい。

田村委員 今後も主婦の目をとおして、図書館を深く知っていきたい。

広木委員 子どもの本連絡会代表として協議会に参加しているが、幼少の頃からできるだけ図書館に親しんでほしいと思っている。

麦倉委員 視覚障害者等の身障者のみでなく、ねたきり老人の枠を弾力的にし、図書館に来られない人にもよりサービスができないと思う。

増淵委員 年々、図書館は充実してきていると思う。

会長 次回協議会開催は、2月下旬か。

事務局 7 閉 会

